

会報

K A I - H O U

No. 379
2025.11.17



被爆ピアノミニコンサート

[開催報告]	2025年度第2回理事会	1
[開催報告]	大阪・関西万博のイタリアパビリオンで開催されたワークショップ (OCoNoMi おおさか報告)	3
[開催報告]	被爆ピアノミニコンサート	5
[開催報告]	第3回理事・監事研修会	7
[開催報告]	第23回魚庭の海づくり大会 (OCoNoMi おおさかブース出展)	8
[開催報告]	大学生への食の支援	9
[連載]	会員生協紹介	10
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	12
[スケジュール]		15

大阪府生協連 2025年度第2回理事会議事録

開催概要

- I. 日 時 2025年10月16日（木）
14時55分～17時00分
- II. 場 所 日本赤十字社 大阪府支部
3階 302会議室
- III. 出席者
- (1) 理事（総数23名中、19名出席、4名欠席）
- ・会長理事 大江桂子
 - ・副会長理事 柴橋圭介、勝山暢夫
 - ・専務理事 中村夏美
 - ・常任理事 石原淳、金津正明、田邊新庫、谷川英子、羽多野宏子、森本秀友（欠席：藤井貴浩）
 - ・理事 小野田郁子、桐田剛至、久保幸雄、窪田亜紀、椿原雅子、西田紀子、松田忍（16時50分 報告事項10が終わり退席）、藪内剛、山田大輔（欠席：今口朋、木下高志、中川恵）
- (2) 監事（総数3名中、0名出席、3名欠席）
- ・監事（欠席：鷲嶺奈緒子、株田裕士、山口雄司）
- (3) 陪席
- ・事務局長 前田倫男
- IV. 議長 大江会長理事
- V. 議事の経過の要領との結果
- 定刻になり、中村専務理事より、総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。
- 続いて、大江会長理事が議長として挨拶し、議事を進行した。

審議事項

1 大阪府生協連2025年度上半期決算の件

中村専務理事より、大阪府生協連2025年度上半期決算について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、石原常任理事より、2025年度上半期決算は審議・議決する事項ではない旨の意見が出されたが、決算は理事会として確認する重要な事項として、今後も審議事項として取り扱うこととした。

2 第65回通常総会日程変更の件

中村専務理事より、第65回通常総会日程変更について提案がされた。

討議の結果、提案の通り2026年6月25日（木）に日程変更し開催することを全員異議なく承認された。

3 大阪府からの「女性に対する暴力をなくす運動」関連セミナーへのジェンダーフォーラム協議会後援要請の件

前田事務局長より、大阪府からの「女性に対する暴力をなくす運動」関連セミナーへのジェンダーフォーラム協議会後援要請について、案内のチラシにジェンダーフォーラム協議会が後援団体として掲載されることが提案された。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

なお、大江会長理事より次年度以降の後援の承認について意見が出された。

4 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会からの要請の件

前田事務局長より、第33回ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会からの要請を受け、同フェスティバルに対し協賛金3万円を協力すること、会員生協に広報する旨提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、大江会長理事より協賛ではなく後援ではないか、OCoNoMi おおさかがブース出展する理由について意見が出され、中村専務理事より補足説明がされた。

5 新年講演会開催の件

前田事務局長より、新年講演会開催について2つのテーマについて検討している提案がされ、討議の結果、2026年の新年講演会は「東日本大震災から15年をむかえて」をテーマにすすめることを全員異議なく承認された。

なお、金津常任理事より持続可能な開発のためのボランティア国際年に対する具体的なイメージについて質問があった。また、柴橋副会長理事よりガザの人道的問題について知り学ぶこと、勝山副会長理事よりSDGsの今後について学ぶこと、NPT再検討会議への派遣について、意見が出された。

ガザの人道的問題やSDGsの今後については、どのように取り上げるか、今後の検討課題とした。

報 告 事 項

報告事項に関して下記の報告がされ、全員異議なく、確認された。

なお、報告事項 1. 夏休み文化企画に関して椿原理事より補足報告があった。報告事項 2. 社会福祉問題研修会に関して大江会長理事より会議名称について意見が出された。報告事項 4. 能登半島地震支援活動に関して窪田理事より補足報告があった。報告事項 5. 東日本大震災被災地（福島県）視察研修に関して久保理事、小野田理事、桐田理事より補足報告があった。報告事項 7. 被爆ピアノミニコンサートに関して窪田理事より補足報告があった。

以上、すべての議事が終了したので、議長は17時00分閉会を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席理事及び出席監事は全員記名押印する。

報告事項	報告者
【大阪府生協連】	
1. 夏休み文化企画	椿原理事
2. 社会福祉問題研修会	前田
3. 理事・監事研修会	前田
4. 能登半島地震支援活動	前田
5. 東日本大震災被災地（福島県）視察研修	前田
6. 被爆80年平和都市ひろしまを知る旅	前田
7. 被爆ピアノミニコンサート	前田
8. 分野別会議	前田
9. 各委員会	
(1)組織活動委員会	小野田理事
(2)ジェンダーフォーラム協議会	窪田理事
(3)文楽・コンサート実行委員会	椿原理事
(4)大規模災害対策協議会	森本常任理事
(5)健康チャレンジ実行委員会	前田
10. 2025年度優良役職員候補者推薦	前田
【日本生協連、他生協等】	
11. 日本生協連	
(1)第1回県連活動推進会議・全国県連活動交流会	中村
(2)第1・2回関西地連運営委員会	中村
12. 第36回近畿地区生協・行政合同会議	前田
13. 近畿地区生協府県連協議会	前田
※以下の事項は文書報告扱いとした	
【会員及び友誼団体等】	
14. 消費者支援機構関西（KC's）	
15. なにわの消費者団体連絡会	
16. 全大阪消費者団体連絡会	
17. おおさか災害支援ネットワーク	
18. ドーン財団「シングルマザー応援フェスタ」	
19. OCoNoMi おおさか	
20. なにわフードバンク“しっかり食べや”	

大阪・関西万博のイタリアパビリオンで 開催されたワークショップ

(OCoNoMi おおさか報告)



IYC の年により、JCA から声をかけて頂き、大阪・関西万博のイタリアパビリオンで開催されたワークショップに参加しました。

2025年9月20日（土）、日本協同組合連携機構（JCA）による大阪・関西万博のイタリアパビリオンにおいて、イタリアのレーガコープとともに「協同組合は未来の社会を築きます」をテーマに、ワークショップが開催され、OCoNoMi おおさか（※）から、松岡賢司理事長が、なにわフードバンク“しっかり食べや”の取り組みについて報告されました。レーガコープは、イタリアの協同組合です。当日は、イタリアと日本の協同組合関係者約100名が参加しました。

ワークショップでは、日本とイタリアの6つの協同組合や団体（グランラッテ協同組合、ユニコープ・フィレンツェ、ポリテクニカ協同組合、JA いずみの、SUN・SUN 会、なにわフードバンク“しっかり食べや”等）から、それぞれの取り組む社会課題への対応に関する事例報告を行った後、意見交換を行いました。事例報告や意見交換を通じて、両国の協同組合が社会課題にどのように取り組んでいるかが相互理解でき、今後の連携や協力への貴重な機会となりました。



松岡理事長 報告



登壇者で意見交換の様子



関係者一同の集合写真



府連メンバーで参加

※「OCoNoMi おおさか」とは、2020年7月に大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会として設立されました。この会は、大阪府内の協同組合及びNPO等の非営利協同セクターが相互に連携して共通課題の解決に取り組み、もって協同組合・非営利協同セクターの活動の促進をはかることを目的としています。現在の構成団体は13団体。

◆【OCoNoMi おおさか構成団体】

一般社団法人 大阪労働者福祉協議会

大阪高齢者生活協同組合

大阪府漁業協同組合連合会

大阪府森林組合

大阪府生活協同組合連合会

大阪府農業協同組合中央会

近畿労働金庫

こくみん共済 coop 大阪推進本部

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

生活協同組合おおさかパルコープ

日本赤十字社大阪府支部

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団関西事業本部

一般社団法人 なにわフードバンク “しっかり食べや”

被爆ピアノミニコンサートを開催しました



10月10日（金）「被爆ピアノミニコンサート」を会場「大阪市中心公会堂 大集会室」にて開催しました。

〔日 程〕 2025年10月10日（金）11時～12時30分

〔場 所〕 大阪市中心公会堂 大集会室

〔参 加〕 130名

〔協 力〕 株式会社矢川ピアノ工房 矢川光則さん

ピアノ：蔵田僚子さん、フルート・オカリナ：村上奈美さん

ファゴット・オカリナ：岡本真弓さん、

オカリナアンサンブル フレンズミモザの皆さん

〔目 的〕 生協の社会的役割を強化する課題の一つとして、被爆・戦後80年の節目を迎えるにあたり、その教訓を忘れずに、次世代につたえていくことが重要だと考えています。戦争と核兵器を無くしていくとともに、誰もが安心して暮らしていける、平和な世界を作っていくことが大切です。被爆ピアノの演奏を聴くことで、平和や核兵器廃絶を自分事して考えるきっかけとするため「被爆ピアノミニコンサート」を開催しました。

〔プログラム〕

モーツァルト：ピアノソナタ第11番第1.3楽章

マンシーニ：ムーンリバー～ひまわり

村松崇継：いのちの歌

池田綾子：明日への手紙

ロジャース：サウンドミュージックメドレー

日本の秋メドレー

岡野貞一：ふるさと

滝廉太郎：荒城の月

フォスター：スワニー川

ジョン・レノン：イマジン

いずみたく：見上げてごらん夜の星を

見岳章作：川の流れのように

アンコール2曲 等

[参加者の感想]

- ピアノだけの音色をじっくり聴く曲と、フルートやオカリナと共に奏でられる曲とで、とても心に染み入るコンサートでした。選曲もしっとりがあり、テンポの良い曲、そして、聴き慣れたメロディであつという間の時間でした。矢川さんのメッセージは、心に響きました。原爆の落ちたあの瞬間をピアノは、知っている。何か見えない想いが伝わってきました。ありがとうございました。
- どの曲も優しくて良い曲でした。被爆ピアノの音色がとても綺麗で、80年前の被爆から大切に手入れされて今まで残ってくれていた事が奇跡だなと思いました。フルート、オカリナ、ファゴットの音色も合っていて良かったです。もっと多くの方に聞いてもらいたかったと思いました。
- とても良かった。矢川さんのお話もしっかり聞くことができ、とても満足です。会長のご挨拶にもありましたが、会場設定も良かったと思います。戦争、被爆を伝えることは、必ず戦争をしないこと、平和を追求することにつながらなければなりません。
- 祖父が原爆で亡くなったので、あの日あの時同じ広島で被爆したピアノと会ったことで祖父を感じたようなホッとした気持ちになりました。
- 私が生まれる前年に、ヒロシマで被爆したピアノ。その音色から、核兵器廃絶を自分事として考えるきっかけに、という呼びかけは、みんなの心に届いたことと思います。
- ピアノとフルートのコンサートと思っていたので、ファゴット、オカリナ等いろいろ聴けて良かったです。ピアノとフルートとファゴットの3重奏は音に厚みを感じ良かったです。被爆ピアノの音は心に響き、矢川さんの平和への思いが素敵な音色となって伝わっていると思いました。



被爆当時を物語る被爆ピアノ



司会は、府連理事（おおさかパルコープ）の窪田亜紀理事



大阪府生活協同組合連合会 大江桂子会長の開会挨拶



演奏前に、株式会社矢川ピアノ工房の矢川光則様に、被爆ピアノの思いを語っていただいた



ピアノとフルートが奏でる平和のハーモニー



オカリナを交えたアンサンブル

第3回 理事・監事研修会を開催しました

10月15日（水）に開催し、7 会員生協、日本生協連から合わせて36名が参加しました。

日本生活協同組合連合会 経理本部の玉石栄治さんを講師に「経営分析の基礎」について学習しました。まず、玉石さんから、以下の5つのテーマについて講義いただきました。

- 決算関係書類（等）とは？
- 経営分析とは？
- 収益性の分析
- 安全性の分析
- 生産性の分析

生協の事業がどのように決算関係書類に反映されるのかについて、簡単な設例を使いながら生協の設立時、掛け取引の開始、設備投資等を数値に落とし込んで学びました。また、経営分析では、その考え方やなぜ経営分析が必要であるかについて学びました。

午後からはケーススタディを行い、貸借対照表、損益計算書から実際に経営分析シートを作成しました。

【参加者の感想】

- 貸借対照表、損益計算書を見たことはあっても、その意味がよくわからなかったのですが、今回の講座でわかるようになりました。あとは実例を見ながら電卓をたたいて経営分析をやってみたいと思います。
- 毎月の理事会に出てくる数字にも、少し興味を持って見てみたいと思いました。数字を読み解けるようになると、経営の仕方も考えられるようになると、わかりました。
- 難しいと思い込んでいましたが、わかりやすい講師の先生のお話しと資料で取り組む気力につながりました。ケーススタディも実際にやってみてわかりにくかったところを認識することができてよかったです。



日本生協連 玉石さんの講義



会場の様子



ケーススタディにて経営分析シートを作成

第23回魚庭（なにわ）の海づくり大会

に出展しました

10月26日（日）岸和田市の浪切ホール祭りの広場で開催された「第23回魚庭（なにわ）の海づくり大会」に、昨年に引き続き OCoNoMi おおさかでブース出展しました。

同大会は、魚庭の海づくり実行委員会（大阪府、大阪府漁連、大阪府立環境農林水産総合研究所）が主催するイベントで、「美しく豊かな大阪湾をみんなの手で取り戻そう」を合言葉に2002年度から開催しているイベントで、地元の漁協による海産物の食のコーナー、行政やNPO等による体験や活動紹介のコーナー、舞台でのダンスやビンゴゲームなどの催しが盛大に行われ、毎回1万人を超える来場者となっています。また、今年は第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭（なにわ）の海おおさか大会～1年前プレイベントとして開催されました。

OCoNoMi おおさかのブースでは「こくみん共済coopの車型フィルム付箋組み立て」「近畿ろうきん～ドキドキ！わくわく！お金をかぞえてハウマッチ!!～」「JA 大阪中央会のお米重さ当てゲーム」「大阪府森林組合の年輪当てクイズ～この木は何歳？～」の4つのプログラムを、各1時間弱の受け持ち時間を分担し運営しました。また同時に、「なにわフードバンク “しっかり食べや”」のフードドライブを受けつけしました。

あいにくの雨模様の中、多くの人にブースに立ち寄っていただきました。



会場の様子



「なにわフードバンク “しっかり食べや”」のフードドライブ



「こくみん共済coopの車型フィルム付箋組み立て」



「近畿ろうきん～ドキドキ！わくわく！お金をかぞえてハウマッチ!!～」



「JA 大阪中央会のお米重さ当てゲーム」



「大阪府森林組合の年輪当てクイズ～この木は何歳？～」

大学生への食の支援を実施しました

物価高のため生活困窮となっている大阪府内大学生への支援と、大学生協の事業への貢献の観点から、2025年10月に生協食堂を活用した支援企画を実施。大阪府漁業協同組合連合会（JF）と協力し、大阪の高品質なしらす約600kgを安価でボリュームミーなしらす丼として提供しました。

【企画内容】

- 実施日程 2025年10月28日（火）～10月30日（木）
- 12会員大学生協にて実施

【大学生の感想】

- 「シラスが思ったよりたっぷりで嬉しい！」
- 「普段、魚はあまり意識してとらないけど食べやすくていい」
- 「お味噌汁とセットでも安くて助かる」



【大学生協の感想】

価格帯も安く、あっさり食べられるという事もあって大好評でした。米の価格の影響もあって全体的に高い印象の中で迷わず選ぶという方が多かった様に思います。米の価格が下がらない中で学生の喜ぶ顔を見ると、とても有意義な企画であったと感じています。



【会員生協紹介：生活クラブ生活協同組合大阪】

第45回生活クラブ生協フェスタを開催しました！

生活クラブ生活協同組合大阪では、10月12日の日曜日に、鶴見緑地にて第45回生活クラブ生協フェスタを開催しました。組合員と生産者、地域団体、こくみん共済COOPなど関連団体が数多くを出展し、広く一般にも開かれたお祭りです。組合員有志によるステージ発表もあり、ごみゼロを目指しマイ食器とバックの持参を呼びかけリユース食器を活用しています。組合員が中心になり様々な企画を考え運営を担い、6月から準備を重ねて臨みました。

当日は3連休の中日であり万博や運動会の影響もあったようで、昨年よりもやや来場者が少なかったのが少し残念でしたが、約2,000名の参加がありました。また、途中激しい通り雨があって屋外ブースは難儀しましたが、それでも屋外屋内とも盛況で、みなやり切った満足感を持って終えることができました。

組合員も地域の人々も、このフェスタで色々なものを食べたり買い物をするのは何より楽しみなようで、帰りにはみなさん大きな袋をいくつも下げ、実りのある時間を過ごすことができました。

(生活クラブ生活協同組合大阪 フェスタ実行委員会 池辺尚代)



食器貸出しの様子



出展ブースの様子



キッズランド（子どもの遊びコーナー）の様子



舞台での発表の様子

【会員生協紹介：生活協同組合エスコープ大阪】

エスコープまつり2025を開催しました！

皆さんこんにちは、私たち生活協同組合エスコープ大阪は1970年、大阪のベッドタウンとして開発された堺市南区の泉北ニュータウンに設立されました。2025年で設立55年です。

当時は高度経済成長期の真っ只中で経済効率が優先され、農薬や化学肥料多用の近代農業が広がっている一方で食にまつわる問題や公害、物価高騰が社会問題となっていました。そのような時代背景の中で「自分たちの暮らしを守るために自ら動こう」と集まった主婦たちがつくった生協です。組合数は現在18,690名で、大阪市南部から泉南郡岬町を活動エリアとしています。2010年に「生活クラブ連合会」に加入し、21都道府県にある33生協と生活クラブ連合会を組織し、現在は約42万人の組合員と運動をすすめています。

さてエスコープ大阪では2025年11月2日に「エスコープまつり2025」をおこないました。今年は国際協同組合年（IYC2025）ということもあり、テーマを「協同組合」「つながり」として堺市北区にある「堺市産業振興センター・イベントホール」で生産者団体26団体、関連団体4団体、協同組合1団体の参加で開催しました。

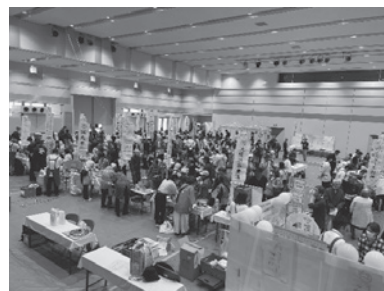
当日の来場者数は約500名で、普段直接会うことのできない生産者との交流や組合員活動、生協の取り組みを組合員や員外の方へ広くアピールすることができました。

昨今発生している大規模災害での救助や避難そして被災地支援対応は、まさに「つながり」が重要な役割を果たします。私たちも大阪府生協連の会員生協としてこれからも協同組合間の連携「つながり」に協力していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（生活協同組合エスコープ大阪 常務理事 桐田 剛至）



出展ブースの様子



会場の様子

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

「シングルマザーの応援フェスタ2025」 参加報告

こくみん共済 coop 大阪推進本部
友繁 明子

2025年9月6日（土）、大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）にて「シングルマザーの応援フェスタ2025」が開催されました。

「リラックスして、交流して、情報をゲットして楽しい1日を満喫してほしい」という思いのもと、同センターでは毎年このイベントが開催されています。

前半は、元宝塚歌劇団の栗岡多恵子さんによる講演と参加者同士の交流会、後半はハンドケアなどのお楽しみ企画と、充実した内容でした。年代もさまざまな女性約40名が参加され、会場は温かい雰囲気にも包まれていました。

栗岡多恵子さんは、華やかな経歴を持ちながらも、ご自身の結婚生活を通じて身体的・精神的な暴力と向き合ってこられました。現在は「アロマセラピーや呼吸法を取り入れたリラクゼーションのための身体ほぐし」や「美しい姿勢を保つためのウォーキング」など、栗岡式ボディワークを展開されています。

「どんな感情もOK。そして自分を決して責めないこと」という言葉とともに、参加者全員で背筋を伸ばし、手足をぶらぶら揺らすワークを行いました。柔らかい語り口で、ご自身の経験を交えながら参加者に寄り添うような講演だったと感じます。

後半は、「身体ほぐしのワーク」「ハンドマッサージ」「キャンドルホルダーづくり」の3つのブースをグループで順に回りました。各ブースは20分程度でしたが、どこでも癒しの時間を過ごすことができたように思います。

私も大学生による「ハンドマッサージ」を体験しました。クリームを使って両腕から手のひらまで丁寧にほぐしていただき、大変リラックスできました。隣の席では、マッサージを受けながら会話が弾み、笑い声が溢れていました。

私が所属するこくみん共済 coop では、「キャンドルホルダーづくり」のブースを担当しました。

「防災・減災を日常の中で考えてほしい。でも恐怖心からではなく、楽しみながら学んでほしい」という思いから、自分で選んだ綺麗なシールを使ってキャンドルホルダーを作る企画を実

施しました。材料はすべて100円前後で揃えられるため、気に入った方にはお子様と一緒に作っていただけたら嬉しいです。

シールは10種類以上、星やハート、ラメ入りのボタンなどを用意し、キャンドルも6種類ほどの色を準備しました。制作時間はあっという間で、選ぶ楽しさから始まり、デザインを考える時間には「すごく色合いが綺麗!」「その蓋の上に貼るのは斬新!」「万博の色みたい!」など、楽しそうな声が飛び交っていました。隣の人と相談しながら作業し、完成できなかった方には材料を持ち帰っていただきました。

お土産には、万が一に備えるための保障のチラシや防災冊子を同封しました。キャンドルを見ることで、防災について少しでも考えるきっかけになればと思います。

内閣府男女共同参画局によると、子どものいる世帯は減少傾向にある一方で、ひとり親世帯は約5割増加しています。厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成28年)によれば、母子世帯のうち45.1%が生活を「大変苦しい」と感じているそうです。

このようなイベントを通じて、「ひとりではない」と安心を感じ、身体を緩め、ゆったりと「大切なわたしのからだ」を確認していただけたなら、嬉しく思います。



キャンドルホルダー作りを説明する友繁さん



ハンドマッサージの様子

「シングルマザー応援フェスタ2025」 参加報告

大阪樟蔭女子大学生協
学生委員会

2025年9月6日（土）にシングルマザー応援フェスタを開催しました。

9月にも関わらず、真夏のような猛暑でしたが、約40名の方にご参加いただきました。
元タカラジェンヌの栗岡多恵子さんのスピーチ後、『ほっこりカフェ』『ハンドケア』『0 キャン
ドルホルダーづくり』『カラダほぐし』を体験していただきました。

今回、ハンドケアコーナーでは、大阪樟蔭女子大学 学生委員会が化粧品ファッション学科の講
師から教わったハンドトリートメントの施術を企画しました。



樟蔭からは5名が参加し、はじめは
すごく緊張していたため、手順を間違
えていないか、失礼はないかと不安で
したが、体験された方からは、「癒され
た」「気持ちよかった」「ありがとう」
など、感謝と励ましのお言葉をいた
だきました。お越しいただいた方とは、
大学生活やお仕事、趣味などの話題を
通じて盛り上がりました。



その他のコーナーでは、大阪府生活協同組合連合会の方によるほっこりカフェ、こくみん共済
coopの方によるキャンドルホルダー作り、川上温子さんによるカラダほぐしなど企画が行われ
ていました。

このような企画を通して、参加された方々に楽しんでいただきました。

14時半から始まった本イベントもあっという間に時間が過ぎ、16時半に閉会となり、多くの
方にご参加いただきました。

スケジュール

11月

- 5 日(水) 大阪880万人訓練
- 6 日(木) 韓国原州協同社会経済ネットワーク 訪日交流会
- 7 日(金) 11月度 健康チャレンジ実行委員会
- 7 日(金) 第2回近畿地区生協府県連協議会(京都)
- 8 日(土) 大阪ボランティア協会 創立60周年記念式典・懇親の集い
- 12日(金) 日本生協連理事会
- 13日(木) 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 14日(金) 消費者支援機構関西(KC's) 常任理事会
- 17日(月) 会報発行
- 18日(火) 分野別会議(地域生協)
- 19日(水) 第3回組織活動委員会
- 19日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 19日(水) なにわフードバンク理事会
- 20日(木) 第3回大規模災害対策協議会
- 20日(木) おおさかパルコープ50周年式典
- 21日(金) 第2回監事会
- 21日(金) OCoNoMi おおさか世話役会
- 22日(土)~23日(日) 能登半島地震被災地ボランティア 活動サロン
- 25日(火) 摂南大学キャリアセミナー
- 26日(水) 生協大会(オービックホール)
- 26日(水) 消費者支援機構関西(KC's) 理事会
- 27日(木) 関西地連運営委員会

12月

- 2 日(火) OCoNoMi おおさか第35回幹事会
- 4 日(木) 大阪府定期検査
- 5 日(金) 12月度 健康チャレンジ実行委員会
- 6 日(土) 消費者支援機構関西(KC's) 20周年記念シンポジウム
- 9 日(火) 防災・減災学習会
- 9 日(火) 摂南大学キャリアセミナー
- 10日(水) 関西大学キャリアセミナー
- 10日(水) 消費者支援機構関西(KC's) 常任理事会
- 17日(水) 生協大会実行委員会
- 17日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 18日(木) 第3回理事会
- 24日(水) 消費者支援機構関西(KC's) 理事会
- 26日(金) 会報発行

1月

- 8 日(火) OCoNoMi おおさか第36回幹事会
- 9 日(金) 1月度 健康チャレンジ実行委員会
- 9 日(金) 消費者支援機構関西(KC's) 常任理事会
- 13日(火) 日本生協連理事会・賀詞交換会
- 15日(木) 新年講演会
- 15日(木) 第4回理事会
- 21日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 28日(水) 第4回組織活動委員会
- 28日(水) 消費者支援機構関西(KC's) 理事会
- 29日(木) 関西地連運営委員会